

# 市立大津市民病院から開業医の先生方へ

## CV ポート(中心静脈ポート)外来

～ 毎週月曜日 午前・午後 開設 (それ以外もご相談に応じます) ～

### 【対象となる患者様】

- ①持続の輸液が必要な患者様
- ②長期間化学療法を行う患者様
- ③短期間であっても手足の静脈が使えない化学療法を行う患者様
- ④中心静脈栄養(主に在宅介護)を必要とする患者様

●●● 地域医療連携室をととして 外科 大江医師 まで、上記に該当する患者様をご紹介ください ●●●

- 適応評価、手術、術後管理、メンテナンスまで一元的に管理し、開業医の先生方による「患者栄養管理」、「化学療法ルートの確保」をサポートします。
- 他院で造設された患者様のポート管理、入れ替えも行います。
- 手術(ポート造設)にあたっては安全第一とし、院内教育システムによるライセンス制のもと、最も適した方法で留置いたします。
- 本院が採用している CV ポートは採血や造影 CT 用としても使用可能で、MRI にも対応しています。

CV ポートは、多くの場合は右前胸部の皮下に薬剤を注入するポートを留置し、心臓の手前の静脈(上大静脈)にカテーテルを留置する方法です。

CV ポートは①右鎖骨下静脈(前胸部) ②内頸静脈(首) ③上腕静脈(腕)のいずれかの血管から挿入されますが、本院では多くの他施設と同様に①右鎖骨下静脈を第一選択としています。

処置は局所麻酔で行い、所要時間は1～2時間程度です。1泊程度入院されることが多いですが、日帰りも可能です。

CV ポートは挿入当日から使用可能です。

CV ポートは鎖骨下静脈をエコーガイドで穿刺するのですが、静脈と併走する動脈の損傷による出血(圧迫でほとんどの場合止血します)や、肺を刺してしまうことによる気胸(胸腔にドレーンを入れて治療をする場合があります)等の注意点が 있습니다。本院では外科が専門に行い、かつ習熟した担当者が指揮監督することでリスクを最小限にするよう努めています。

CV ポートは月単位、年単位で使用することがあり、それにとまなう注意点もあります。

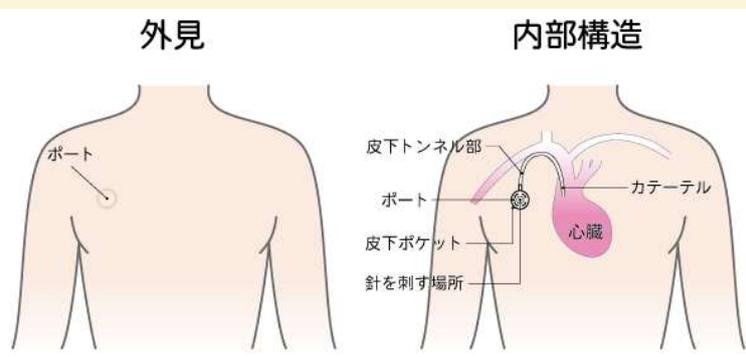
①カテーテルの断裂: 本院はカー杯引っ張っても断裂しない材質が使用されている製品を採用しています。

②カテーテルの閉塞: フィブリンが付着したカテーテルは、交換を行います。

③カテーテルの細菌感染: CV ポートの抜去を行います。

特に問題がなければ CV ポートには定期交換は不要で、5年以上使用されている患者さんもおられます。

本院では、CV ポート挿入と管理については外科に一元化されています。挿入のご相談、挿入後のトラブルのご相談についてはお気軽に当院外科 CV ポート外来を受診いただければ幸いです。寝たきり状態またはそれに近い患者様の場合、事前に地域連携室を通してご相談いただければ入院での造設も検討いたします。



(日本統合医療推奨協会 HP より)



担当医師

外科 大江 秀典

お問い合わせ先

市立大津市民病院 TEL: 077-526-8192

地域医療連携室 FAX: 077-522-0192

(受付時間: 平日 8時30分～17時15分)



市立大津市民病院  
Shiga City Hospital